

2016年「おたっしゃ会」のみなさん、ご来館の風景

10月11日(火)、12日(水)、14日(金)、17日(月)、19日(水)、21日(金)の6日間、社会福祉協議会黒木支所さんが開催されている、生きがいデイサービス「おたっしゃ会」参加者のみなさんがご来館されました。図書館に親しんでいただこうと、図書館の紹介を行うほか、日替わりで3組のボランティアさんに出演していただき、朗読や紙芝居、布のパネルシアターなどの様々なおはなしを演じていただきました。またの楽しいひとときを一緒に過ごしましょう♪



布の絵本制作ボランティア「虹の会」さん

手遊び歌の「キャベツのなかから」をみなさんと一緒に！



堤 諭吉 さん

股旅ものの紙芝居『験の母』。堤さんのなめらかな口上により、人情味あふれるおはなしの世界に引き込まれて、思わずハンカチを手取る方も…。



大型絵本『ハバ、おつきさまとって！』。大迫力のお月さまが…！



松尾さんの心地よいお声で朗読された作品は、新美南吉作『鈴だま』や向田邦子著『字のない葉書』など。



虹の会さん力作の、布のパネルシアター『かさじろう』。工夫を重ね、細やかに作られているひとつひとつの作品をご覧になり、感嘆の声も！



松尾 満留美 さん

松尾さんが奏でるコカリナを伴奏に、みなさんと「旅愁」と「浜辺の歌」を歌いました。

